

2016年度 第4回 ひまわりの会役員会

2016年9月21日(水)

司会：長田 勝利

出席者：羽生田重穂、磯部習之（みらいコーポ）、荻原信雄（リアン若里）、前野恵（喫茶りんどう）、渡辺昌子（りんどうの家）、北沢和代（お寄り家びーんず）、長田勝利（クレール篠ノ井）、山森浩史、高野博充、斎藤治美（そば工房）、後藤昌志（あんだんて）、高橋靖（悠友ハウス）

欠席者：赤塚則宏（セルフイー平林）、北島那津子（皆神ハウス）

★気分調べ（“食欲の秋と言ったら？”とあわせて）をしてから議題に入りました。

1. 研修報告

①5・21共同集会

自民党のマニフェスト、実行されるのか疑わしい。戦争は二度として欲しくない。どこにお金を使うのか考えて欲しい。とても暑かったが、精一杯声を出した。

②リカバリー全国フォーラム2016

- ・相模原の事件を受けて、障がい者は守られている一方、見方を変えれば隔離されているという話が出た。社会へ出て、相互理解を進めることが大切だと感じた。
- ・「よりリカバリーしたい」との想いで参加した。
- ・全国から約1200人が参加していた。
- ・今回のサブタイトルは「リカバリー志向サービスへの転向・支援サービスの『見える化』とリカバリー・当事者参加による意思決定を考える」で、理解できるか不安だった。「見える化」について、現代ではロコミが多い中、精神科病院や施設に対してはロコミや情報が少ない状態だという話が出た。当事者の声で病院のサービス、評判、治療の結果、満足度を「見える化」していこう、当事者視点で共同意思決定していこうとの話も出た。
- ・リレートークでは、「今の日本は“臨床的リカバリー（医師、病院が患者に対して回復していると判断）”、これからは“パーソナルリカバリー（当事者本人が感じるリカバリー）”が大切ではないか」という声が一番心に響いた。自分は病院・医師に回復を求めてしまいがちだが、リカバリーは自分で切り開いていかなければならないと感じた。
- ・小嶋修一さんのシンポジウムでは、がん治療を経験しながら体験した精神科医療についてだった。小嶋さんが感じた「見える化」は、自分自身が治療に参加できること、チーム医療・チーム支援に当事者が参加していくこと、治療の結果、満足度が得られることによってリカバリーに繋がることだそう。経験者（ピア）が同じ立場にたって当事者の涙が枯れるまで話を聞くということはアメリカやヨーロッパでは当たり前。がん患者の心の負担を軽減することをしているそう。日本の医療の組織図はピラミッド型が多い。本当は、①医師・看護師、②家族・友人、③臨床心理士・ソーシャ

ルワーカーという3つの輪の重なり合いの中心に当事者がいることが望ましいということだった。

- 分科会「リカバリー宣言 2016」に参加した。イタリアから当事者、教育者の2名が来日、福祉施設の職員（イタリア）とはスカイプで中継をし、イタリアのリカバリーについて話を聞くことができた。イタリアには精神科病院が無いことや薬物だけの治療はダメ、社会の中でのリハビリが大切、人と一緒にいることが大切…など話を聞いた。その後、リカバリーするための鍵を見つけるグループワークを行なった。自分が元気になる時にしていることを書き出し、1枚のポスターを作り上げた。共感し合うことができた。
- 分科会「WRAP^{ラップ}～元気回復行動プラン～」に参加した。各グループに1名ずつファシリテーターが入り、「日常生活管理プラン」を作成した。毎日していい感じの事、時々やるといい感じの事を模造紙に書いた。なかなか書けないでいたが、ファシリテーターの方の言葉の誘導がとても上手で、うまく引っ張ってもらえた。そんなファシリテーターにあこがれた。
- 2日間を通して、ピアとして各方面で働いている人がいて、特にピアサポーターとして活躍している人がたくさんいるとわかった。でも、各地に散らばると各県のほんのわずかの人に過ぎない。ピアサポーターはまだまだ認知度が低く、需要も少ない。国はピアスタッフの人材育成のために動き出したところ。今まで就きたい職業はなかったが、ピアサポーターになることが夢になった。
- 誰のことも否定せず、受け入れてくれる場だと感じた。参加者からも「ホッとした」との声もあった。仲間の大切さに気づき、仲間が励み、力になることを知った。

③ピアサポート研修

- 自分と同じ悩みのある人の力になりたいと感じた。でも“ピアサポート”と言わずに、普通に相談を受けたい。自分がピンチの時に相談したとしたら、専門用語を使われてもよくわからない。だから、自然体で相談にのりたいと思う。
- 相談を受ける人と相談をする人の間には、上下関係が生じやすい。“対等であることが大切”と頭でわかっているけど、実際は難しいと感じた。
- “病気だからこそできたこと”と聞いて、病気になったことを引け目に感じていたが、和らいだ。悩みを聞いていけるようになりたい。
- ピアサポートは難しいと感じた。過去の自分を振り返ると、相談にのる立場のときにどうしても上の立場になりがちだったと思う。“対等”は難しいと感じた。ピアサポーターにあこがれていたが、ピアサポーターを甘く見ていたと感じた。

2. 会費について

①会費の使い方について

“ひまわりの会”としては、何を大切な活動として会費を使っていくのか、どんな会にしていきたいか、話し合いました。

【役員会であがった意見】

- 会員の皆さんに還元できる活動（茶話会、旅行など）に使いたい。
会員から集めたお金なので、平等に使うべき。研修にばかり使うと偏りがでる。
- 研修へ代表で行ってもらい、報告をしてもらえば、補助を出した価値はあると思う。
- ひまわりの会は、各事業所同士の交流をするための会でもあると思う。茶話会などの活動も大切にしたい。
- 会員みんなの意見を大切にしたい。
- 会員が何でも言い合える会にしたい。
- 仲間と色々言い合えて、共感し合えるような会にしたい。
- 行事や研修に参加できない人は損ではないか？という意見も出ている。報告などをきちんとして還元できるようにしたい。
- 誰もが気軽に参加できる会にしたい。
- 社会に繋がる道しるべのような存在にしたい。
- 仲間づくりができる会、色々な活動を通して社会にも貢献できる会、社会にも知ってもらえるための会にしたい。

役員会であがった意見 まとめ

- ①会員の意見を大切にしたい
- ②仲間づくり・会員同士の交流のための会
- ③研修への補助については、きちんと報告をして還元してもらえるなら良いのではないかと？
- ④ひまわりの会の活動を通して、社会参加も大切にしたい（外への情報発信）

②会費の金額について

事業所では、特に不満はない様子。

★会費の使い道や金額について、会員の皆さんがどう考えているか確認するためのアンケートを実施する。

後日、各事業所にお配りします。ご協力をお願いいたします。

3. ホームページについて

①ブログ記事募集について

【記載する内容】

- 人を傷つける内容は NG！
- ペンネームでも OK。
- 趣味の話など気軽に書いて下さい。
- 手書きでも OK。記事を書いたら、役員まで渡して下さい。

*ブログ 今後の更新予定

- ・趣味について（ゲーム）
- ・茶話会の感想

②ホームページの課題について

ホームページをプリントアウト・掲示していない事業所もある。

⇒スタッフにも声掛け・お願いをして、確実に掲示できるようにする。

4. 今年度の活動について

①茶話会その1の振り返り、次回に活かすこと

- ・ネームをつけて、グループに分かれてから自己紹介をすれば良かった。
- ・次回は、1月下旬に開催したい。
会場：みらいコーポ稲葉 ※ベースは崩さず、新しいことを何かできないか？
- ・参加者からは、またやりたいという声が多い。
- ・気軽に話せて良かった。
- ・2回目も同じテーマで良い。
- ・色々な話が聞けて、自分にプラスになった。勉強になった。またやりたい。
- ・とても楽しかった。色々な人と話ができて良かった。またやってほしい。
- ・リーダーは緊張したが、みんなもたくさん話してくれて良かった。
- ・他の事業所の季節感などを知ることができた。思っていることは人それぞれということが改めてわかった。
- ・他の事業所の人と話せて良かった。
- ・人数も集まって良かったが、大半がひまわりの会の役員や旧役員だった。役員でない人にも参加してもらいたい。
- ・和やかにできて良かった。
- ・もっと掘り下げて話したい。
- ・もっと色々な人と話したかった。グループを変えて話せると良かった。

②旅行のレクリエーションについて

- ・連想ゲーム
- ・浅草上野クイズ（前野さんが問題を考える）
- ・しりとり
- ・カラオケ

③旅行のプラン・費用について

- ・昼食が高いという意見がある。お弁当などに変更し、費用を抑える？
 - ・高くてもおいしいものを食べたい！という意見もある。
- ⇒昼食について、係で検討する。

④絆フェスタでのポップコーン販売のシフトについて

- ・喫茶りんどう 日中は販売があるため、トップバターを希望。
- ・悠友ハウス 午前中は駐車場係のため、午後を希望。

⑤各分担での話し合い（交流会・旅行・絆フェスタ）

交流会

- ・茶話会その2について

日時：2017年1月11日（水）新年会として開催。

13:30 受付開始 14:00～15:50

※途中でグループをシャッフルして、より多くの人と交流ができるようにする。

申込みは、あんだんて・志村まで。締め切り：12月27日（水）

詳細は、後日配布するチラシ、申込み用紙を参照して下さい。

- ・全体の交流会について

日にち：3月13日（月）

講師：増川ねてるさん

プログラム AM：WRAPとは何か？ 増川さんの体験をまじえて
PM：WRAPの実践（グループワーク形式）

※昼食について、びーんずのお弁当を注文できるか確認する。（担当：志村 sf）

申込みの際にお弁当の注文の有無を記入してもらうようにする。

旅行

- ・係分担

バス車内の司会・進行：荻原さん、長田さん

チラシ作成：中村さん

- ・昼食について

天ぷら炊き込み定食（¥1,080）に決定。

- ・申込みの締め切り：10月20日（木） 詳細はチラシを参照。

※自己負担分は、11月中に各事業所にて集金する。

絆フェスタ

- ・ポップコーン販売について

エプロン、三角巾は喫茶りんどうより借りる。（確認担当：前野さん）

- ・価格とパッケージについて

ビニール袋に入れたものと紙袋に入れたもので、検討。販売価格を決める。（担当：市川 sf）

5. パンフレットについて 参考：パンフレット案

- ・活動の紹介については、写真を入れるとわかりやすいと思う。

6. その他

①せいしれんセミナー実行委員会

実行委員を募集します。月1回、松本にて開かれる会議に参加していただきます。
基本的には、市川sf運転の車で移動できます。

役員会：10月24日（月）

②長野県精神保健福祉協議会 精神保健福祉ハンドブックに「ひまわりの会」を記載 団体名、連絡先（事務局のTEL）などが記載されます。

③きょうされん全国大会 in くまもと 参加について

遠方での開催で2泊3日と大変であることから、今回は参加者なし。

④ピアサポート協会 きらりの集い in 名古屋 2017

2017年1月7日（土）、8日（日）

参加希望者を募集します。詳細は10月中旬以降、お伝えします。

⑤相模原市の事件を受けての座談会について

相模原市のやまゆり園での殺傷事件について、グループホームの利用などについての
座談会が開かれ、冊子にまとめられるとのこと。（座談会：11月中）

⇒羽生田重穂さんが参加する。

⑥絆の会サポート委員会より

悠友ハウス・法人本部建設費用への寄付をお願いします。

⑦ポプラの会主催・藤井克徳氏 講演会

11月19日（土）13:00～ 長野県社会福祉総合センター講堂（3階）

講師：藤井克徳氏 演題：「共に生きる社会の実現」～私たちは今何をすべきか～

詳細、申込み用紙は、後日配布します。

申込みはメールかFAXにて、そば工房・山森、高野まで。

☆ 各事業所に報告すること

①ブログの記事 大募集！

記事は手書きでもOK！自分で撮影した写真もOK！

お気軽にひまわりの会役員へ声を掛けて下さい。

②旅行について

日にち：10月17日（月）

行き先：東京方面 浅草、上野動物園など

申込み締め切り：10月20日（木）

★ひまわりの会の会費からも補助を出す予定です。

正確な自己負担額は後日連絡します。（もう少しお待ちください。すみません。）

③茶話会その2 2017年1月11日（水）14:00～15:50

④増川ねてるさんを招いた交流会 2017年3月13日（月）

⑤絆の会サポート委員会より 悠友ハウス・法人本部建設費用への寄付のお願い

◇ 各事業所で検討すること

①会費について

アンケートを配布しますので、回答をお願いします。

②絆フェスタでのポップコーン販売について

昨年同様、ポップコーン販売をシフト制で行います。各事業所から、2～3名を販売係として選出して下さい。

※詳しくはチラシを参照してください。事業所で販売をする方もいると思いますので、ポップコーンの販売が難しい場合はご相談下さい。

③パンフレットについて

「こんなことを書いておいてほしい」などの意見、要望を募集しています。
より良いパンフレット作りにご協力をお願いします。

④ポプラの会主催・藤井克徳氏 講演会 11月19日（土）

★参加者を募集します。

詳細、申込み用紙は、後日配布します。

申込みはメールかFAXにて、そば工房・山森、高野まで。

次回役員会は… 10月26日（水）13:30～

共用Aにて

司会：高橋 靖